

- ・議長挨拶
- ・公認組織内議員紹介
- ・議員団団長挨拶
- ・第55回定期大会
- ・竹林ボランティア
- ・福祉施設訪問

とちぎ

電機連合栃木地方協議会機関紙

発行者：大柿 幸夫

編集者：島田 猛

事務局：329-1105

栃木県宇都宮市中岡本町2784-3 飛鳥ビル2F

TEL：028-671-3333 FAX：028-673-7777

～ 新年のご挨拶 ～ 『壬寅（みずのえとら）〈越冬をし芽吹き新しい成長をする年〉』

明けましておめでとうございます。

新年が幸多き年となりますことを心からご祈念申し上げます。昨年は「新型コロナウイルス2年目の年」でまさに「牛のように動かぬ一年」でした。欧州では再度感染拡大している国もありますが、ここ日本ではワクチン接種の効果もあり元の生活に戻ろうとしています。そんな中私達電機産業では「巣ごもり需要」もあり極端な経済の低迷を避ける事が出来たものの、世界的な半導体不足・電子機器部品不足で成長の機会を失いつつあります。矢継ぎ早に苦悩が続きますが、私たちは安心して安定した生活と持続可能な社会の実現に向け運動をして行くと共に、政策制度の改善へも誠心誠意取り組んでいきます。

電機連合栃木地協は、果たすべき役割をしっかりと認識しながら組織一体となって取り組んでいきたいと考えておりますので、皆様の一層のご厚情賜りますようお願いを申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

電機連合栃木地協議長 大柿 幸夫



電機連合 公認組織内議員を応援しよう

電機連合では国民民主党を応援し、国政に2名の公認組織内議員を送り出しています。私たち働く仲間の代表として国政で活躍されているお二人を電機連合栃木地協はこれからも応援していきます。



浅野さとし衆議院議員



矢田わか子参議院議員



～ 永年のご支援に感謝 後任へバトンを託します ～



議員団々長
千葉 まさひろ

あけましておめでとうございます。昨年は衆議院議員選挙において、国民民主党の浅野さとしが、選挙区で当選を果たすことができました。また、比例区では北関東ブロックで国民民主党の議席を確保することができました。皆様のご支援・ご協力に感謝を申し上げます。千葉正弘は、16年7カ月続けさせて頂いた議員活動を、今年の4月をもって後任に託して

いきます。これまでのご支援に感謝と御礼を申し上げます。私の後任として、「こだち孝之」が準備を進めています。栃木市議会に初めてのチャレンジとなりますので、皆さま方の熱いご支援を引続きお願い申し上げます。

こだち孝之の 決意表明

この度、千葉議員の後任として、栃木市議会議員に挑戦致します。

何事にも誠意を持って、熱心に取り組み、行動力を発揮していきたいと考えています。皆様からのご支援を宜しくお願い致します。



こだち 孝之

画面越しでも繋がる絆 ～ 第55回定期大会 ～

2021年9月24日(金)地協会議室およびWeb参加にて第55回定期大会が開催されました。

当日は、Webでの出席にて電機連合本部から近藤副委員長よりごあいさつを賜りました。

2020年度経過報告と、議案審議では第1号議案「2020・2021年度運動方針の補強に関する件」の他、役員の一部変更など全議案が満場一致で可決されました。最後は、大柿議長のガンパロー三唱で、地協のさらなる飛躍・発展を全員で誓いました。

また、大会終了後には、目前に控えた第49回衆議院議員選挙と来たる第26回参議院議員選挙の必勝に向けて決起集会を行い、「浅野さとし」「矢田わか子」両議員とともに一致団結をはかりました。



議長団の
橋本さん(第一電子)と飯村さん(FTN)



栃木地協事務所よりガンパロー三唱



浅野議員・矢田議員と必勝を誓い合う

美しい里山を守りたい ～ 福祉対策部：竹林ボランティア ～

2021年7月17日(土) 栃木県茂木町で進められている「竹林整備計画2020」に地協福祉対策部のボランティア活動として参加しました。

主な活動は、竹の伐採、枯れた竹の片付けなどですが、持続的に美しい竹林を維持し、美しい里山の自然も含め、地域の魅力を発信しながら人が訪れる機会を創ることを目的とされています。また、親子や子供たちの学習イベントに向けて、竹のベンチも作成しました。

コロナ禍の夏の暑い時期ではありましたが、参加された14名の方々と久しぶりに共に汗を流す作業が出来ました



竹林ボランティア参加者

(黒川/MEMC)

同じ地域で働く仲間として ～ 福祉施設訪問 ～

福祉対策部は、2020年度も福祉施設への訪問活動を実施しました。

2020年度は、栃木県内で活動している6団体に対して訪問を行い、活動内容や課題を何うとともに家電等の寄贈を行いました。私たちが働く地域においても、様々な福祉施設が存在し、社会課題に取り組みされていることを再認識し、地域で働く仲間として協力できる部分がないか考える機会となりました。

活動後は、寄贈品に対するお礼の言葉や手紙を頂戴することができ、充実した活動となりました。



そらいろカフェ訪問

(高橋/日本信号)